資料3

子ども・子育て支援事業計画中間見直し 量の見込み・確保の内容(案)について(13事業)

子ども・子育て支援事業計画の計画期間が中間年を迎え、これまでの事業実績や独自 に想定した将来人口により、地域子ども・子育て支援事業(13事業)の量の見込みを見 直しました。併せて、確保の内容の見直しについて、事業担当部署により検討した結果 を次ページ以降に記載しています。

次ページ以降に掲載する事業は以下のとおり

No.	事業名
1	利用者支援事業
2	時間外保育事業(延長保育事業)
3	放課後児童健全育成事業
4	子育て短期支援事業(ショートステイ)
5	乳児家庭全戸訪問事業
6	養育支援訪問事業・要保護児童等の支援に資する事業
7	地域子育て支援拠点事業
8_1	一時預かり事業(預かり保育) 幼稚園(1号・2号)
8_2	一時預かり事業(預かり保育) その他(幼稚園以外)
9	病児・病後児保育事業
10	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)
11	妊婦健康診査事業
12	実費徴収に係る補足給付を行う事業
13	多様な事業者の参入促進・能力活用事業

国のワークシートにより算出する量の見込み(需要の数値)には、平成30年度に実施した子育て支援ニーズ調査により得た家庭類型の割合を使用しています。

【家庭類型タイプ】(子育て支援ニーズ調査による分類)

A:ひとり親

B:フルタイム×フルタイム、 C:フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部) C':フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)

D: 専業主婦(夫)

E:パート×パート(双方120時間以上+下限時間~120時間の一部) E':パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)

F:無業×無業

事業名 利用者支援事業 担当課 幼児教育・保育課、健康課

	及び実績・	・見込み	(R4) と量の	の見込みの見				位:か所)	_
現行計画			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度]
		特定型	1	1	1	1	1	1	l
	量の見込 み	基本型	_	5	5	5	5	5	5
		母子保 健型	_	1	1	1	1	1	ı
		特定型	1	1	1	1	1	1	l
	確保の内 容	基本型	_	5	5	5	5	5	5
		母子保 健型	_	1	1	1	1	1	ı
実績及び R4見込み		特定型	1	1	1	1			
	利用・確 保実績	基本型	_	5	5	5		_	
		母子保 健型	_	1	1	1	_	_	
見直し案	国WS						R5年度	R6年度	╛
量の見込み	算出值		_	_			_	_	
		▼事務局	案	1]
	市独自	特定型	_	_	_		1	1	l
	推計	基本型	_	_	_	_	5	5	5
		母子保 健型	_	_	_	_	1	1	L

量の見込み案の算出方法等(事務局案) 国のワークシートでは算出されない。

【独自推計の方法】

引き続き、以下のとおり実施していく。

変更(見直し)した理由・数値の算出方法

【特定型】1か所(市役所田無第二庁舎の窓口に設置) 【基本型】5か所(地域子育て支援センターを市内5か

【母子保健型】1か所(保谷保健福祉総合センター4階 に設置)

◆今回の中間見直しおいて、【確保の内容】の変更の有無 (単位:か所)

変更(見直し)有無 R5年度 R6年度 変更有り 特定型 の場合 見直し案 確保の内 無し 基本型 母子保健

↓ 変更無しの場合

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由

【幼児教育・保育課】引き続き、特定型1か所、基本型5か所を実施していく。

【健康課】母子保健型としては、1か所で統括し、母子保健担当と連携。ただし、人 員体制等については、適宜見直しを図る。

◆事業内容及び確保方策の考え方等

子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支 援事業を円滑に利用することができるよう、利用希望者に情報提供 し、必要に応じて相談や助言を行うとともに、関係機関との連絡調 整などを行う事業です。

【特定型】

市役所田無庁舎に総合窓口を設置し、地域子育て支援推進員を配 置することにより実施していきます。

【基本型】

地域子育て支援センターにおいて、子育て家庭等から日常的に相 |談を受けるとともに、子育てに関する情報提供等を行います。地域 連携は、「子ども家庭支援センターのどか」が持つ関係機関との 行 ネットワークを活用して、一体となって実施していきます。 計 【母子保健型】

保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざ まな相談に応じ、母子保健や子育て支援サービス等の情報提供を行 うとともに、支援プランの作成などを行います。併せて、妊娠出 産、育児が円滑に安心してできるための相談や支援を行いながら地 |域基盤へとつないでいきます。また、周産期関係機関等と連携を図 |り、支援が切れ目なく届くよう整えていきます。

【基本型】

地域子育て支援センターにおいて、子育て家庭等から日常的に相 談を受けるとともに、子育てに関する情報提供等を行います。地域 連携は、「子ども家庭支援センターのどか」が持つ関係機関との ネットワークを活用して、一体となって実施していきます。 また、地域子育て支援センターの拡充検討にあわせて、さらなる

充実を検討します。

見 直 し案

時間外保育	育事業(延長保育事	業)			担当課	幼児教育・	R育課	
									◆事業内容及び確保方策の考え方等
	単位	Rl年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		保護者の就労形態の多様化、通勤事情などに対応するため、保護
量の見込 み	人	1,510	1,740	1,820	1,870	1,890	1,890	家庭類型がタイプA、B、C、Eの0~5歳で、今後、「認定	所に在園する子どもについて、通常の保育時間を超えて保育を行う 事業です。 保育所において延長保育を実施し、量の見込みに対応する提供係
確保の内 容	人	1,510	1,740	1,820	1,870	1,890	1,890	かつ、利用希望する終了時間が「18時以降」の人 (新たな人口推計により算出)	判な確保していきます
利用実績	人	1,378	1,298	1,307	1,312			/ 【独自推計の方法】	現 行 計 画
	単位					R5年度	R6年度	新にに恕定しに認り保育園・地域型保育事業の利用有数 を用いて 前回と同様の計算方法により質用	
国WS 算出値	人	_	_	_	_	5,355	5, 229	と用いて、間口で国家の間弁の1名により弁田	
	▼事務月	L 計案	I						<u> </u>
市独自		_		_	_	1,780	1,780		変更なし
	らいて、	【確保の内領	容】の変更の)有無	】 当 品	D5 年度	DG年度	が軍(目古))」を理由、粉結の管山士注	
有り		変更有り の場合	見直し案	確保の内 容	人				見 直 し 案
変更無しの	の場合	•			•		•		*
容】を変更	更(見直	し)しないヨ	理由						
	及 量み確容 利 算 市推 見 う 更 乗 積 込 有 変 大 の の の の の の の の の の の の の	及び実績・見込み 単位 量の見込 人 確容 利用実績 単位 利用実績 単位 算出値 人 単位 算出値 人 ▼事務 人 間見有無 で 更無しの場合	及び実績・見込み (R4) と量の 単位 R1年度 量の見込 人 1,510 確保の内 人 1,510 利用実績 人 1,378 単位	単位 R1年度 R2年度 量の見込 人 1,510 1,740 確保の内	及び実績・見込み (R4) と量の見込みの見直し案 単位 R1年度 R2年度 R3年度 量の見込 人 1,510 1,740 1,820 確保の内	及び実績・見込み (R4) と量の見込みの見直し案	及び実績・見込み (R4) と量の見込みの見直し案	及び実績・見込み (R4) と量の見込みの見直し案	及び実績・見込み(R4)と量の見込みの見直し案

放課後児童健全育成事業 児童青少年課 担当課

161

2,799

161

2,947

◆現行計画及び実績・見込み(R4)と量の見込みの見直し案 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 1年生 740 795 850 875 915 1,830 2年生 600 625 675 715 740 3年生 470 455 475 510 545 学童 4年生 325 295 285 300 320 クラフ 5年生 500 量の見込 2 6年生 2,330 2,180 2,295 2,410 2,530 2, 145 5年生 110 105 100 105 110 その他 6年生 60 60 60 55 の事業 170 165 160 170 160 2,270 2,475 学童クラブ 2,110 2,210 2,330 2,400 確保の内その他の事業 220 185 195 215 175 2,330 2,385 2,455 2,525 2,605 2,690 実績及び 学童クラブ 2148 2,304 2,282 2,503 R4見込み 利用実績をの他の事業 257 28 90 2405 2,310 2,394 2,503 6年度 85年度 低学年 2,424 2,447 高学年 1,033 1,036 算出值 3,480 3,460 計 ▼事務局案 925 1年生 881 82 862 2年生 3年生 625 656 量の見込 4年生 303 318 5年生 市独自 6年生 推計 2,638 2,785 5年生 102 104 その他 6年生 59 57 の事業

量の見込み案の算出方法等(事務局案) 【国ワークシートの算出要領】

家庭類型タイプA、B、C、Eの5歳児で、就学後、低学年・ 高学年で、放課後を学童クラブで過ごさせたいと回答し た人。(5歳児以上家庭のみを対象とする設問) 国ワークシートでは低学年、高学年の予測しか算出され

(新たな人口推計により算出)

【独自推計の方法】

新たな人口推計を用いて、前回同様の計算方法により量 の見込みを当出しても、実績が見込みを上回るため、新 たな計算方法により独自に算出する。

◆学童クラブ 令和5年度

<1-4年生>

R4年度の小学校児童数と学童クラブ入所実績から1-4年生 の入会率 | 0.502 | 0.456 | 0.354 | 0.187 | を算出。1-3年 生は、算出した割合にR4からR5の伸びを2% (0.02) と見 込み加算。R5年度小学校児童数見込みに各々の割合乗じ て算出する。 <5.6年生>

R4実績から、前年度・前学年の実数を見込む

◆学童クラブ_令和6年度

<1-4年生>

R1-R4実績とR5量の見込みから、各年の伸び率 | 1.06 | 1.01 | 1.09 | 1.05 | を計算。平均値 | 1.05 | を算出し、 R5年度の各学年の量の見込みに乗じる。 <5.6年生>

R4実績から、前年度・前学年の実数を見込む

新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により

◆事業内容及び確保方策の考え方等

放課後児童健全育成事業(学童クラブ事業)は、小学生のうち、 保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象に、児童館や学 校の余裕教室、専門施設で、放課後に適切な遊びや生活の場を与 え、児童の健全育成を図る事業です。現在、35か所の施設において 実施しています。

一方、保護者の就労にかかわらず利用できる「放課後子供教室」 は、地域の方々の参画を得て、子どもたちにさまざまな体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する事業です。現在、遊び場開 放は全小学校で、学習活動の機会提供(学習支援、体験活動)は12 校で実施しています。

今後も、地域のニーズに合わせて学童クラブの充実を図るととも に、児童館・児童センターの活用や放課後子供教室との連携により 放課後の居場所づくりを進めて、量の見込みに対応する提供体制を 確保します。また、提供体制の確保にあたっては、各事業の運営方 法などを十分検証・検討し、適切な居場所づくりの充実に努めま

画

_	
1	変更なし
1	2020.0
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
I	
見直し案	
1 2	
旦	
11.	
1 -	
案	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	
1	

◆今回の中間見直しおいて、【確	保の内容】の変更の有無
-----------------	-------------

合計

変更(見直し)有無 R5年度 R6年度 変更有り 学童クラ 2,638 2,785 の場合 見直し案 確保の内 その他の 有り 205 215 容 事業 合計 2,843 3,000

その他の事業は、現行計画のとおりとする。

変更(見直し)した理由・数値の算出方法 学童クラブは、量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容と

↓ 変更無しの場合

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由

子育て短期支援事業(ショートステイ)

担当課

子ども家庭支援センター

事業名

行計画		単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	量の見込み案の算出方法等(事務局案)		保護者が病気や介護などの理由により、家庭での養育が一時的
	量の見込 み	人日	430	150	145	140	135	135	【国ワークシートの算出要領】すべての家庭類型の0~5 歳で、泊りがけの預かりにおいて、「短期入所生活援助 事業」を利用した人、「仕方なく子どもだけで留守番さ		困難となった場合、児童養護施設で、子どもの保護を行う事業です。 本市では、市内にある児童養護施設に委託して、実施していま
	確保の内 容	人日	810	150	145	140	135	135	5 / せた」と回答した人。数値が算出されなかった。		す。今後も、引き続き同様の提供体制を確保します。
経績及び 1見込み	確保実績	人日	810	720	684	456	5 —	_	【独自推計の方法】 新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により 算出	現行計	
	【参考】 利用実績	人日	103	108	107	107	7 —	_	※5人単位で調整	計画	
直し案		単位					R5年度	R6年度			
の見込	国WS 算出値	人日	_	_	_	_	(0			
		▼事務	 局案	<u> </u>	<u>I</u>						
	市独自 推計	人日	_	_	_	_	140	135	5		変更なし
		らいて、	【確保の内容	容】の変更の	の有無	Ince					
	し) 有無 有り		→ 変更有り の場合	見直し案	確保の内 窓	単位 人日	R5年度 140		変更(見直し)した理由・数値の算出方法 量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。	見直	
\	変更無しの		[し] しないヨ	里由	台]		し 案	

事業名	乳児家庭	全戸訪問	事業				担当課	健康課				
◆現行計画	及び実績	・見込み	(R4)と量の	の見込みの見	見直し案						4	事業内容及び確保方策の考え方等
現行計画						R4年度	R5年度	R6年度		量の見込み案の算出方法等(事務局案)		乳児のいるすべての家庭が安心して子育てを始められるように、
	量の見込 み	人	1,470	1,440	1,430	1,410	1,390			国のワークシートでは算出されない。 【独自推計の方法】		保健師、助産師が訪問し、子育て支援に関する情報提供や保健指導を行います。
	確保の内 容	人	1,470	1,440	1,430	1,410	1,390	1,380	/	新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により 算出	3	
実績及び R4見込み	利用実績		1,382	1,355	1,403	1,408				※10人単位に四捨五入		」 計
見直し案		単位					R5年度	R6年度				
量の見込み	国WS 算出値	人	_	_	_	_	_	_				
		▼事務	一 局案		<u> </u>						_	↓
	市独自	人	_	_	_	_	1,360	1,350				乳児のいるすべての家庭が安心して子育てを始められるように、 保健師、助産師が訪問し、子育て支援に関する情報提供や保健指導 を行います。 併せて、子育てについて、保護者やご家庭の状況に合わせて、
◆今回の中	間見直しま	おいて、	【確保の内容	∽】の変更0								様々な事業や相談につないでいきます。
変更(見直	し)有無		\rightarrow			単位	R5年度			(見直し)した理由・数値の算出方法	1.	
	有り		変更有り の場合	見直し案	確保の内 容	人	1,360	1,350	出産作 た無を もある	‡数も減少傾向にあることから、推計に合わせ修正する。 し、出産件数の減少について、新型コロナ(関連)の影響 を評価出来ないことから、当初の見込みで推移する可能性		記 直 し 案
\downarrow	変更無し	の場合	<u> </u>						0 47.0	v o		
【確保の内	容】を変見	틴(見 直	し) しないヨ	里由								

事業名	養育支援訪問事業	・要保護児	童等の支援に	こ資する事業	¥	担当課	子ども家庭	支援	センター、健康課		
◆現行計画 現行計画	及び実績・見込み		D <u>見込みの見</u> ■R2年度		R4年度	R5年度	(単位:人) R6年度	1	量の見込み案の算出方法等(事務局案)		事業内容及び確保方策の考え方等 児童虐待防止や育児不安を抱えているなど、養育支援が特に必要
坑11計凹	量の見込み	84						-	国のワークシートでは算出されない。	†	とされる家庭を対象に、保健師等が訪問し、保護者の育児・家事等の養育能力を向上させるための支援や相談支援を行います。
	確保の内容	84	93	92	91	1 9	0 8		【独自推計の方法】 新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により 算出		また、妊娠期から出産期までの間における過度な不安や悩みが生しる時期において、特に自ら支援を求めていくことが困難な家庭に対して、予防的な子育て支援を目的に産前産後の支援を行います。
実績及び R4見込み	確保実績	65	108	113	116	6 —	_				要保護児童対策地域協議会(子どもを守る地域ネットワーク)の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員(関係機関)の専門性及び連携の強化等を行います。
	育児支援訪問 事業	15	15	15	3(0	_				
	産前・産後ケ ア事業	50	93	98	86	6 —	_				元 〒 十
	【参考】利用実績	63	61	55	7(0	_				
	育児支援訪問 事業	13	13	12	2 24	4 —	_				
	産前・産後ケ ア事業	50	48	43	46	6 —	_				
見直し案 量の見込	FWC					R5年度	R6年度	}			
み	国WS 算出値	_			_	_	_				
	▼事務局案							1			
	市独自 推計	_	_	_	_	9	2 9				変更なし
		【確保の内容	タ】の変更の)有無	I.	I		T		_	
変更 (見直	(し) 有無	→ 変更有り			単位	R5年度	R6年度	【子	〔 (見直し) した理由・数値の算出方法☆家セン】量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とす		
	有り	変更有り の場合	見直し案 	確保の内 容	人	9	2 9	る。	建康課】量の見込みの変更に伴い同数を確保の内容とし、産	が直し、	
\downarrow	変更無しの場合	•		•	•		•	後の)育児を安心して安全に迎えられるよう、支援を継続してい		
【確保の内	容】を変更(見直)	し) しないヨ	里由					<u> </u>	-		

野来石 心物 月に久波だが野来 周日本 別月本 初月秋月 休日本、月至日之中本、月に日本に入りません。	事業名	地域子育て支援拠点事業	担当課	幼児教育・保育課、児童青少年課、子ども家庭支援センター	
---	-----	-------------	-----	-----------------------------	--

◆現行計画及び実績・見込み(R4)と量の見込みの見直し案

◆現行計画	<u>及</u> て	『実績・見込み(R4)	<u>と量</u> の	<u>見込みの</u> 見	直し案				
現行計画			単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量	の見込み	人日	88,990	95,680	93,770	93,630	92,670	89,740
	確係	呆の内容	人日	88,990	95,680	93,770	93,630	92,670	89,740
	確(設)	呆の方策(実施施	か所	18	18	18	18	18	18
実績及び R4見込み	利月	用実績	人日	88,647	56,617	69,808	69,330	_	_
		地域子育て支援セ ンター	人日	13,651	18,914	26, 480	26, 480	_	_
		児童館	人日	51,595	21, 451	26,032	25, 554	_	_
		子育て広場	人日	23, 401	16, 252	17, 296	17, 296	_	_
		実施施設】 呆実績、利用実績	か所	18	18	18	18	_	_
		地域子育て支援セ ンター	か所	5	5	5	5	_	_
		児童館	か所	11	11	11	11	_	_
		子育て広場	か所	2	2	2	2	_	_
見直し案		•	単位					R5年度	R6年度
量の見込み		国WS 算出値	人日	_		_	_	10, 454	10, 132
	V I	事務局案							
		市独自 推計	人日	_		_	_	88,730	86,000

量の見込み案の算出方法等(事務局案) 【国ワークシートの算出要領】

すべての家庭類型の0~2歳で、現在、「地域子育て支援拠点事業」を利用している人、「利用していないが、今後利用したい」と回答した人。

(新たな人口推計により算出)

【独自推計の方法】

新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により算

※10人単位に四捨五入

◆事業内容及び確保方策の考え方等

地域子育て支援センター5か所、児童館11か所、子育てひろば2 か所で、子育ての相談や情報提供に応じたり、子育て中の親子の交 流、遊び場の提供などを通じて子育てを支援する事業です。

事業が定着する一方、利用者数が少ない施設、利用者数が年々減少している施設もあります。そのため、今後は、市民ニーズにあったサービス提供ができるように、各施設の特性や利用実態、市全体での配置バランス等について、検証する必要があります。

現行計画

J

地域子育て支援センター5か所、児童館11か所、子育てひろば2 か所で、子育ての相談や情報提供に応じたり、子育て中の親子の交流、遊び場の提供などを通じて子育てを支援する事業です。

事業が定着する一方、利用者数が少ない施設、利用者数が年々減少している施設もあります。そのため、今後は、市民ニーズにあったサービス提供ができるように、「エリアを踏まえた保育園・児童館・センター等の再編の方針」を踏まえ、今後検討する実施計画の中で、施設の配置バランス等の見直しを検討していく必要がありませ

直し案

見

◆今回の中間見直しおいて、【確保の内容】の変更の有無

変更(見直し)有無 変更有りの場合 有り
 見直し案
 単位
 R5年度
 R6年度

 確保の内容
 人
 88,730
 86,000

 確保方策(実施施設)
 か所
 18
 18

F度 変更(見直し)した理由・数値の算出方法 【幼児教育・保育課】量の見込みの変更に伴い、同数を確保の 86,000 内容とする。

【児童青少年課】量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。

【子家セン】量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。

→ 変更無しの場合

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由

事業名 一時預かり事業(預かり保育) ①幼稚園1号・2号 担当課 幼児教育・保育課

◆現行計画及び実績・見込み(R4)と量の見込みの見直し案

(畄位:人日)

◆現行計画	及び実績	<u>・見込み(R4</u>) と量の見					位:人日)
現行計画			Rl年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		1号認定によ る利用	13, 120	20, 470	19,920	18,890	18,530	18, 290
	量の見 込み	2号認定によ る利用	75, 390	63, 190	61,500	58,320	57,200	56,460
		合計	88,510	83,660	81,420	77,210	75,730	74, 750
	確係	界の内容	88,510	83,660	81,420	77,210	75, 730	74, 750
実績及び R4見込み	利用実績	E T	85,990	72, 545	86,728	86,715		_
見直し案							R5年度	R6年度
量の見込み	1号認定	国WS 算出値	_	_	_	_	24,727	24, 296
	による		▼事務局案					
	利用	市独自 推計	_	_	_		21, 170	20,800
	2号認定	国WS 算出値	_		_		79, 934	79, 934
	による		▼事務局案					
	利用	市独自 推計	_	_	_		65, 350	64, 210
		国WS 算出値	_	_	_	_	104,662	104, 230
	合計		▼事務局案					
		市独自 推計		_	_		86,520	85,010

量の見込み案の算出方法等(事務局案)

【国ワークシートの算出要領】

<1号>

家庭類型がタイプC'、D、E'、Fの3~5歳で、(1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合)×(不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合)により算出する利用意向率に不定期事業を利用したい日数を乗じる。

<2号>

家庭類型がタイプA、B、C、Eのの3~5歳で、利用意向率は1.0と設定し、母親の就労日数(週当たり日数×52週)を乗じる。

(新たな人口推計により算出)

【独自推計の方法】

年々利用が増えているため、直近の実績を用いた独自 算出を行う。過年度実績・R4年度見込みの伸びを勘案 し、利用割合の最も多くなるであろうR4年度の利用割合 42.675を各年度の幼稚園在園児数予測に乗じて算出する。

R2-R4年度の3-5歳人口に対する在園児数の割合は | 0.418 | 0.410 | 0.406 | であり、幼稚園在園児の予測は3年度平均値の0.411とし、今後の3-5歳人口に乗じた。

市内の幼稚園は14園すべて私立で、1号認定による利用にあたる。1号認定・2号認定の見込み量は、計画策定時と同様の割合(国WSで算出された令和2年度の数値より計算)で案分する。

◆今回の中間見直しおいて、【確保の内容】の変更の有無

変更 (見直し) 有無 → 変更有り の場合

単位 R5年度 R6年度 1号認定に 21, 170 20,800 よる利用 見直し案 確保の内 2号認定に 65,350 64, 210 よる利用 容 合計 86,520 85,010

変更(見直し)した理由・数値の算出方法 量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。 20,800

↓ 変更無しの場合

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由

◆事業内容及び確保方策の考え方等

保護者が仕事、疾病、用事等の理由により、家庭において保育することが一時的に困難となった乳幼児を、幼稚園や保育所などにおいて一時的な預かりを行う事業です。

①幼稚園(1号・2号)の一時預かり事業について 保育時間及び長期休暇中の事業拡充を図るため、幼稚園に対する 補助金等の支援を継続し、1号、2号の区分にかかわらず量の見込

みに対応できる提供体制を確保していきます。

画

\downarrow	
	変更なし
見直し案	
直	
し	
案	

事業名 担当課 時預かり事業(預かり保育) ②その他(幼稚園以外) 幼児教育・保育課

◆現行計画	及び気	実績・見込み(R4	りと量の見	込みの見直し)案		(単	位:人日)
現行計画			Rl年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の	保育所 一時預かり		13,960	13,410	12,470	12,480	11,860
	見込み	ファミリー・サ ポート・センター (未就学)	31,820	2,530	2,470	2,400	2,370	2,310
	確保	の内容	34, 400	16,490	15,880	14,870	14,850	14, 170
実績及び R4見込み	利用	実績	18, 243	12, 116	12,809	11,226	_	_
		保育所 一時預かり	15, 960	10,534	11,382	9,799	_	_
		ファミリー・サ ポート・センター (未就学)	2, 283	1,582	1,427	1,427	_	_
見直し案							R5年度	R6年度
量の見込み		国WS 算出値		_			77, 192	
		▼事務局案						
	— 1. X.H.	保育所 一時預かり					12,610	11,900
	市独 自推 計	ファミリー・サ ポート・センター (未就学)	_		_	_	2, 390	2,340
		計	_	_	_	_	15,000	14, 240

量の見込み案の算出方法等(事務局案)

【国ワークシートの算出要領】

すべての家庭類型の0~5歳で、不定期事業を「利用した い」と回答した人。幼稚園型を除く一時預かりの見込み 量は国のワークシートでは事業別には算出されない。 (新たな人口推計により算出)

【独自推計の方法】

新たに想定した認可保育園・地域型保育事業・認証保育 所・企業主導型保育の利用者数(2号・3号保育 量の見込 み)を用いて、前回と同様の計算方法により算出 ※10人単位に四捨五入

◆今回の中間見直しおいて、【確保の内容】<u>の変更の有無</u>

変更(見直し)有無 の場合

変更有り

			K5年度	K6年度
		保育所 一時預か り	12,610	11,900
見直し案	確保の内 容	ファミ リー・サ ポート・セ ンター(未 就学)	2, 390	2, 340
		計	15,000	14, 240

→ 変更無しの場合

有り

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由

変更(見直し)した理由・数値の算出方法 量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。 ◆事業内容及び確保方策の考え方等

保護者が仕事、疾病、用事等の理由により、家庭において保育す ることが一時的に困難となった乳幼児を、幼稚園や保育所などにお いて一時的な預かりを行う事業です。

②その他(幼稚園以外)の一時預かり事業について

|* 保育所における一時預かり事業・・・現在実施している保育所 と新設保育所等で実施し、量の見込みに対応する提供体制を確保し ていきます。

* ファミリー・サポート・センター事業・・・サポート会員を増 やすことを目指し、地域の活動団体等を通じて積極的な広報活動を 行います。また、ファミリー会員へ安心・安全なサービス提供体制 が確保できるように、相互援助活動について丁寧な調整を行い、利 用者の満足度が高まるよう努めます。今後は、多様なニーズの変化 |に対応できる体制について検討し、将来を見据えた体制づくりを目 指します。

* 一時預かり事業のさらなる拡充を図るため、民間事業者へ協力 を求めることで、民間保育施設等の活用に向けた調整、検討等を行 います。

保護者が仕事、疾病、用事等の理由により、家庭において保育す ることが一時的に困難となった乳幼児を、幼稚園や保育所などにお いて一時的な預かりを行う事業です。

②その他(幼稚園以外)の一時預かり事業について

* 保育所における一時預かり事業・・・現在実施している保育所 と新設保育所等で実施し、量の見込みに対応する提供体制を確保し ていきます。

* ファミリー・サポート・センター事業・・・サポート会員を増 やすことを目指し、地域の活動団体等を通じて積極的な広報活動を |行います。また、ファミリー会員へ安心・安全なサービス提供体制 が確保できるように、相互援助活動について丁寧な調整を行い、利 用者の満足度が高まるよう努めます。今後は、多様なニーズの変化 に対応できる体制について検討し、将来を見据えた体制づくりを目 指します。

案 | * 一時預かり事業のさらなる拡充を図るため、空き定員の活用や 民間事業者へ協力を求めるなどの、調整、検討等を行います。

直

事業名 病児・病後児保育事業 担当課 幼児教育・保育課

◆現行計画及び実績・見込み(R4)と量の見込みの見直し案

▼坑门前画	及し大阪	兄心の		ク兄とのグラ				
現行計画		単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	量の見込 み	人日	7, 150	4,390	4,460	4,500	4,500	4,500
	確保の内 容	人日	5,860	5,820	5,820	5,820	5,820	5,820
実績及び R4見込み	確保実績	人日	5,800	5,860	5,722	5,860	_	
	【参考】 利用実績	人日	3, 275	805	2,412	1,928		
見直し案		単位					R5年度	R6年度
量の見込み	国WS 算出値	人日	_				12,550	12, 254
		▼事務周						
	市独自 推計	人日	_		_	_	4,500	4,500

量の見込み案の算出方法等(事務局案) 【国ワークシートの算出要領】

家庭類型がタイプA、B、C、Eの0~5歳児で、子どもが病気やケガにより、「母親または父親が休んだ人」のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人及び「病児・病後児保育施設等」、「ファミリー・サポート・センター」を利用した人、「仕方なく子どもだけで留守番させた」と回答した人。(新たな人口推計により算出)

【独自推計の方法】

新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により 算出 ※10人単位に四捨五入

◆今回の中間見直しおいて、【確保の内容】の変更の有無

	THE NO > 1 1 1		> 11 1111		
変更(見直し)有無	\rightarrow			単位	R5年度
無し	変更有り の場合	見直し案	確保の内 容	人	
↓ 変更無しの場合	•		-	-	<u>-</u>

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由 医療機関の協力により、市内に病児・病後児保育室を3施設(定員:20人/日)整備している。量の見込みを現状の整備状況で飲み込めるため、確保の内容については変更しない。

変更(見直し)した理由・数値の算出方法

◆事業内容及び確保方策の考え方等

発熱等の急な病気となった児童(病児)や病気回復期の児童(病後児)が、教育・保育施設に通えなかったり、保護者による保育ができない場合に、病院に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育を行います。

本市では市内にある医療機関に委託して実施しています。今後も引き続き同様の提供体制を確保します。

現 また、既存施設の時間延長等のサービス拡充については、子ども 行 の心身の負担と、保護者の事情等について議論しつつ、検討してい 計 きます。 画

変更なし	
	変更なし

事業名	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	担当課	幼児教育・保育課
-----	---------------------------------	-----	----------

◆現行計画及び実績・見込み(R4)と量の見込みの見直し案 (単位:人日) 現行計画 R1年度 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 980 低学年 16,780 1,000 1,010 1.010 990 量の見込 1,610 高学年 2,460 1,650 1,650 1,640 1,620 確保の内容 17,520 2,640 2,660 2,660 2,610 2,590 実績及び R4見込み 利用実績 2,082 1,016 1,754 1,754 見直し案 R6年度 R5年度 量の見込 低学年 348 345 み 国WS 高学年 521 519 算出值 868 866 ▼事務局案 低学年 1,020 1,020 市独自 推計 高学年 1,670 1,660 2,690 2,680 ◆今回の中間見直しおいて、【確保の内容】の変更の有無 変更(見直し)有無 R5年度 R6年度 単位 変更有り 見直し案 確保の内 の場合 有り 人日 2,690 2,680

量の見込み案の算出方法等(事務局案)

【国ワークシートの算出要領】

すべての家庭類型の5歳児で、就学後、低学年のうちは、 放課後、「ファミリー・サポート・センター」を利用し たいと回答した人。

(新たな人口推計により算出)

【独自推計の方法】

新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により

※10人単位に四捨五入

変更(見直し)した理由・数値の算出方法 量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。

↓ 変更無しの場合

【確保の内容】を変更(見直し)しない理由

◆事業内容及び確保方策の考え方等

児童の預かり、送迎時の支援等を受けることを希望する者(ファ ミリー会員)と、支援を行うことを希望する者(サポート会員)と の相互援助活動に関する連絡・調整を行います。

サポート会員を増やすことを目指し、地域の活動団体等を通じて 積極的な広報活動を行います。

また、ファミリー会員へ安心・安全なサービス提供体制が確保で きるように、相互援助活動について丁寧な調整を行い、利用者の満 足度が高まるよう努めます。

今後は、多様なニーズの変化に対応できる体制について検討し、 将来を見据えた体制づくりを目指します。

変更なし

直 し 案

行

事業名	妊婦健康	診査事業	É				担当課	健康課				
◆現行計画	町及び実績	・見込 <i>み</i>	、(R4)と量の	の見込みのり	見直し案						◆ 国	事業内容及び確保方策の考え方等
現行計画						R4年度	R5年度	R6年度]	量の見込み案の算出方法等(事務局案)	Ť	妊娠している方に対して、妊婦健康診査を行います。
	量の見込み	人	1,440	1,360	1,340	1,320	1,320	1,310)	国のワークシートでは算出されない。 【独自推計の方法】		現在と同様に、契約医療機関で個別健診を実施し、提供体制を保します。
	確保の内 容	人	1,440	1,360	1,340	1,320	1,320	1,310	,] /	新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により 算出	現	
実績及び R4見込み	利用実績	人	1,360	1,299	1,309	1,215	_	_	V	※10人単位に四捨五入	現行計画	
見直し案		単位					R5年度	R6年度]			
量の見込み	国WS 算出値	人	_	_	_	_	_	_				
		▼事務	<u> </u> 局室						4			
	市独自推計	人	_	_	_	_	1,280	1,280)			変更なし
◆今回の中	中間見直し	おいて、	【確保の内容	容】の変更の	の有無	I we co	lastt.	In a to the	T			
変更(見直	重し) 有無		→ 変更有り	日本)安	7#/U 0 4	単位	R5年度	R6年度		更(見直し)した理由・数値の算出方法 の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。	見直	
	有り		の場合	兄担し柔 	確保の内 容	人	1,280	1,280)		担し案	
\downarrow	, 変更無し	の場合	_		1	1			1		采	
【確保の内	内容】を変	更(見直	[し] しない	理由]				

事業名	実費徴収	に係る神	甫足給付を行	う事業			担当課	幼児教育・	・保育課	
現行計画	i及が宝績	・貝込 <i>ス</i>	ょ(R4)と量(の見込みの見]直1.室					
見行計画						R4年度	R5年度	R6年度	量の見込み案の算出方法等(事務局案)	育施設等
	量の見込 み	人	_	420	410	390	380	370		る事業で
	確保の内 容	人		420	410	390	380	370	新たな人口推計を用いて、前回と同様の計算方法により 値化しています。 値化しています。	の人致を
実績及び R4見込み	確保実績	人	_	270	291	291	_	_	現 現 行 計 計	
	【参考】 利用実績		1,300	1,879	2, 288	2, 241				
見直し案		単位					R5年度	R6年度		
量の見込 み	国WS 算出値	人	_		_	_	_	_		
		▼事務	 局案	<u>ll</u>	<u> </u>					
	市独自 推計	人	_	_	_	_	400	390	変更なし 00	
	間見直し	おいて、	【確保の内容	容】の変更の	の有無	I war		In a to the		
変更 (見直	し) 有無		」→ 変更有り			単位	R5年度	R6年度	変更(見直し)した理由・数値の算出方法 量の見込みの変更に伴い、同数を確保の内容とする。 見 見	
	有り		の場合	見直し案	確保の内 容	人	400	390		
\downarrow	変更無し	の場合	4		1	!				
【確保の内	容】を変す	更(見直	[し] しない	理由						

事業名	多様な事	業者の参入促進・能	力活用事業			担当課	幼児教育・	保育詞	課、子育て支援課		
◆現行計	画及び実績	・見込み (R4) と量	の見込みの!	見直し案						◆事	事業内容及び確保方策の考え方等
現行計画	量の見込み	単位 R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 		量の見込み案の算出方法等(事務局案)		特定教育・保育施設等への民間事業者の参入の促進に関する調査 研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設等の 設置又は運営を促進するための事業です。 市の地域子育て支援推進員が巡回訪問・相談を行う等、新規施設
実績及び	確保の内容									現	に対する支援を行うとともに、所管課窓口での手続きに係る支援や 助言等を行います。 また、参入の意思がある子育て支援団体等の質の向上に対する支
R4見込み	、利用 ──── 確保									行計画	援の検討については、計画の見直しの中で、市民ニーズを踏まえ改 めて検討していきます。
見直し案量の見込み	国WS 算出値	 - 数値目標の)設定はと	こくにあり	 リません。						
	市独自推計	右側の記載					え方等)を	参照		<u> </u>	変更なし
変更(見)	中間見直しる 直し)有無 直し)有無 □ 変更無し									見直し案	
【確保の	内容】を変更	<u> </u>									